

排出権取引に関するディベート
擁護派プレゼンテーション レジюме

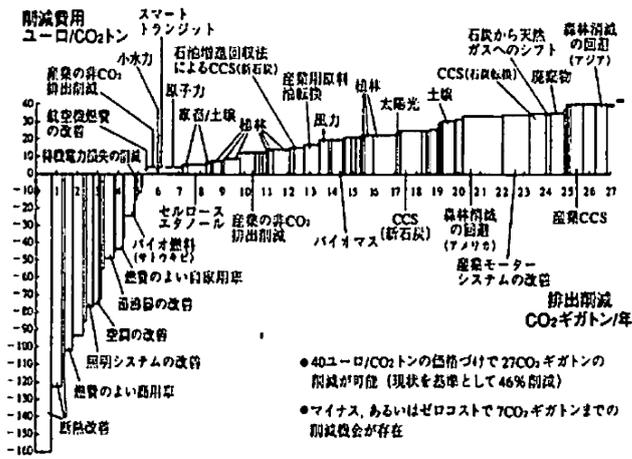
2008/11/15

仲田健治

-排出権取引を導入するメリット-

- ・ 削減費用の最小化＝削減効率最大化
 - 環境と経済の両立
 - より厳しい削減目標が達成可能に
- ・ 不確定要素への対応が容易
 - 削減不足時の CAP 絞り込み
 - 新規の目標への対応
 - 排出量の管理（政府の介入）
- ・ 国際的協調が比較的容易
 - ⇔ 炭素税
 - 国際的枠組みの目標との整合性
- ・ 新技術の開発、普及のインセンティブ
 - 減らした分だけ利益に
 - 段階的に新技術を導入する経済性を生む（下図）

図3 温室効果ガスのグローバル規模での排出削減費用
[2030年]



[注] CCS (Carbon Dioxide Capture and Storage): 二酸化炭素回収・貯留
[出所] Vattenfall (2007), Global Mapping of Greenhouse Gas Abatement Opportunities, p.6.